

経営比較分析表（令和4年度決算）

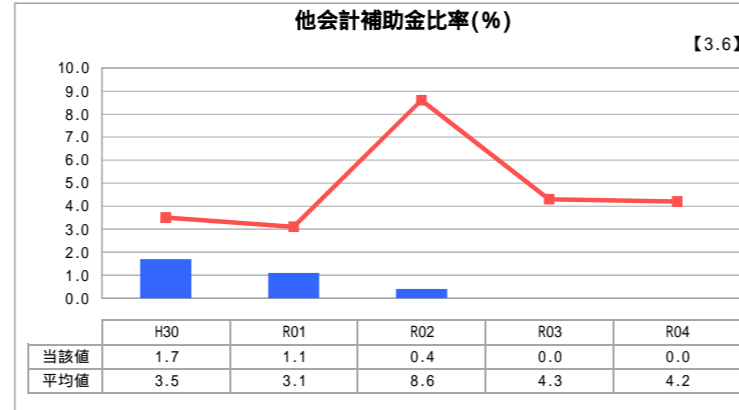
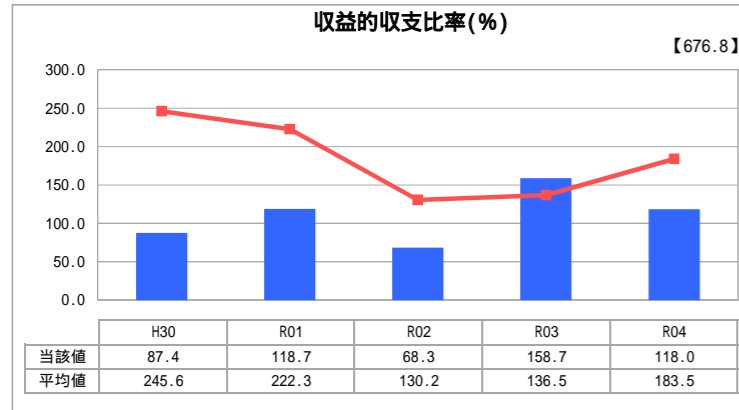
兵庫県三田市 新三田駅前駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	24	

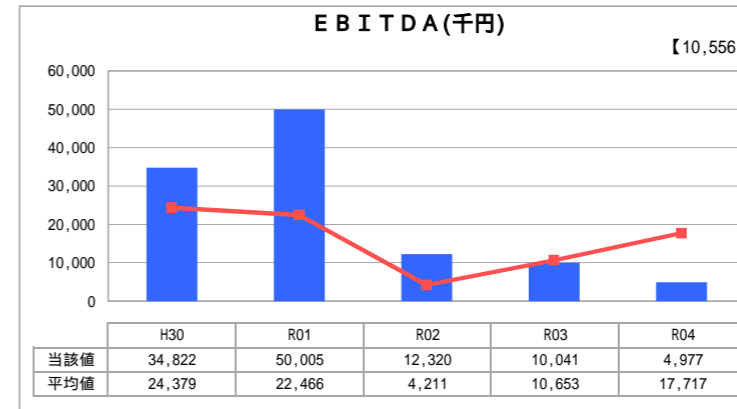
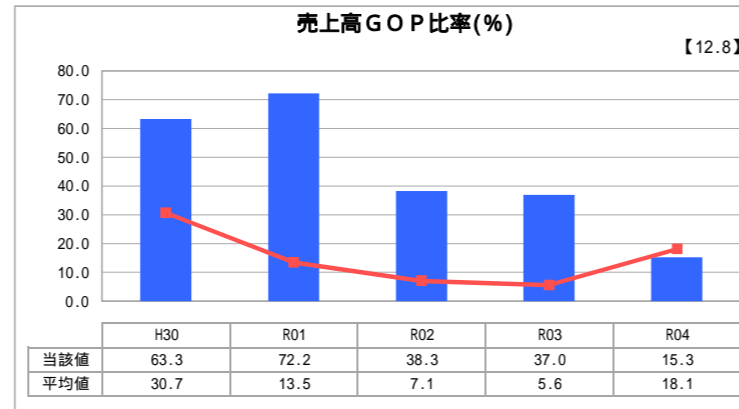
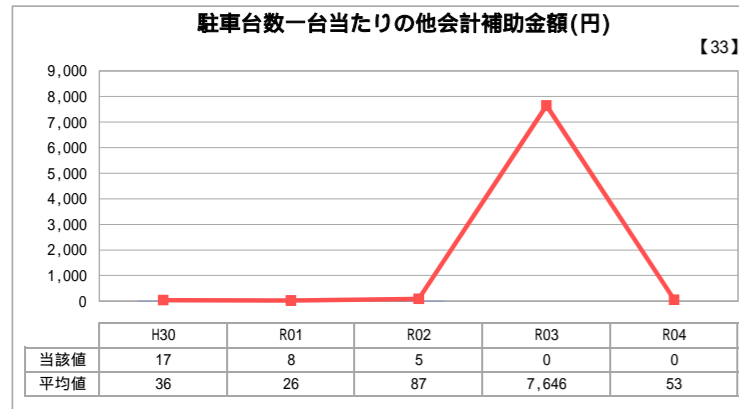
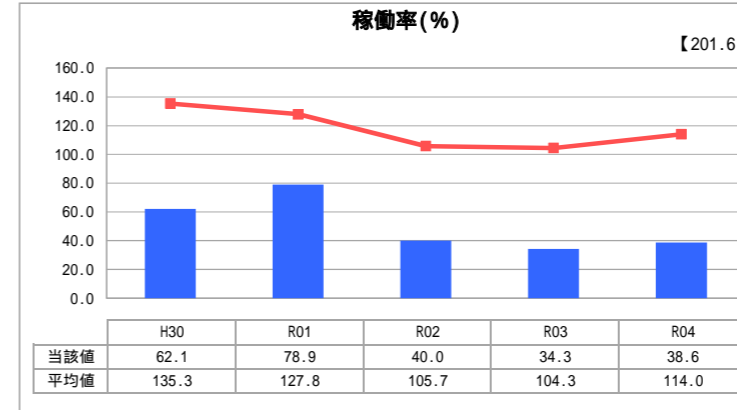
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	7,938
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
280	300	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

前年度に比べ稼働率、使用料収入ともに増加となっており、コロナ禍からの回復期に入ったと考えられる。しかしながら、設備改修にかかる一時的な費用の増大があったため、収益的収支比率、売上高GOP比率、EBITDAは減となった。
 今後も使用料収入の回復基調は続くと思われる、令和5年度の収益的収支比率、売上高GOP比率、EBITDAは上昇が予想される。
 なお、地方債の償還が令和2年度で満了したことに伴い他会計補助金比率、駐車台数一台当たりの他会計補助金額は0となっている。

2. 資産等の状況について

地方債の償還が令和2年度で満了したため、今後は施設・設備の大規模修繕や更新の費用が主な資産に係る経費となる。
 当該施設は建設後20年以上経過しており、今後、設備等の大規模な改修が必要となるため、計画的に改修を行っていく必要がある。
 令和4年度は電気設備関係の大規模改修を行った。令和5年度は大きな設備改修の予定はない。

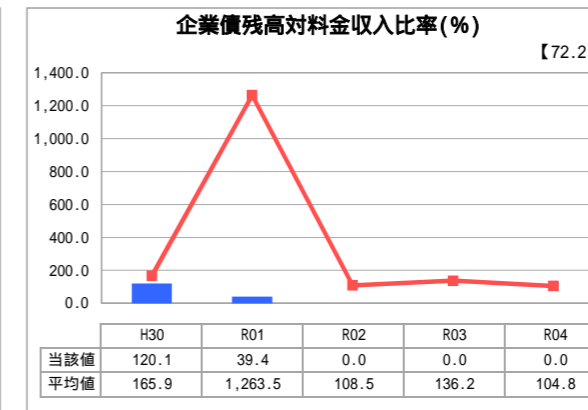
3. 利用の状況について

前年度に比べ稼働率は増となった。コロナ禍による稼働率の低下は底を打ったと思われる、令和5年度も稼働率の回復が続くと考えられる。
 また、新三田駅前の土地区画整理事業後の土地利用の動向など、今後の稼働率に影響を与える要因も考えられる。

2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)	0
設備投資見込額(千円)	20,000



全体総括

前年度に比べ、稼働率の上昇に伴い使用料収入も増となったが一時的な費用の増もあったため稼働率以外の指標は低下した。
 建設後20年を経過した施設設備については、長期的な収支予測を踏まえた大規模改修の計画的な実施が必要となってきている。
 回復基調であるとはいえコロナ禍前の水準に戻るにはなお時間を要する状況であるため、経費の削減を進めるとともに適切に施設の維持管理を行い、新三田駅前の土地区画整理事業後の土地利用の動向を注視しながら稼働率の増加にむけた取り組みを進め、今後の健全経営につなげていく予定である。